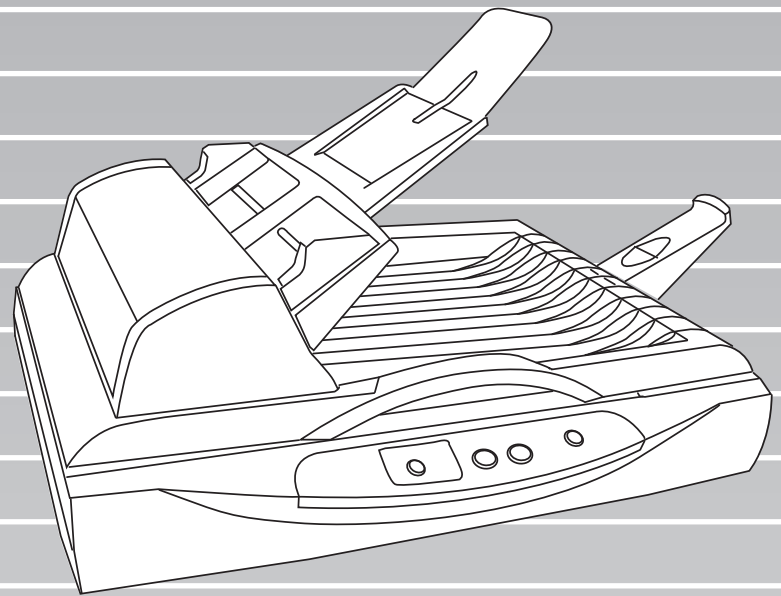


P3PC-1592-06Z0

fi-5015C イメージスキャナ オペレーターガイド



目次

| | | |
|--------------|------------------------------|-----------|
| | 本書をお読みになる前に | v |
| 第 1 章 | スキャナ各部品の名称..... | 1 |
| | 1.1 本体の各部の名称と働き | 2 |
| | 1.2 操作パネル..... | 5 |
| 第 2 章 | 基本的な操作について..... | 7 |
| | 2.1 電源の投入および切断..... | 8 |
| | 2.2 ADF に原稿をセットします | 13 |
| | 2.3 原稿台に原稿をセットします..... | 18 |
| | 2.4 原稿の読み取り方法 | 20 |
| | 2.5 スキャナドライバの使い方..... | 23 |
| | 2.6 画像読み取り用アプリケーションの紹介 | 31 |
| 第 3 章 | 日常のお手入れ..... | 33 |
| | 3.1 原稿づまりが発生したときは..... | 34 |
| | 3.2 スキャナを清掃します | 35 |
| | 3.3 消耗品を交換します | 40 |

| | | |
|---------------------|--|------|
| 第 4 章 | 困ったときには | 51 |
| 4.1 | ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示 | 52 |
| 4.2 | トラブルシューティング | 54 |
| 付録 A | スキャナの仕様 | AP-1 |
| 付録 B | [Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンを使う前に | AP-5 |
| 付録 C | e- 文書法に適合した電子文書の作成 | AP-9 |
| 修理・お問い合わせについて | | RM-1 |
| 索引 | | IN-1 |

はじめに

このたびは、fi-5015C カラーレスキャナ装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
fi-5015C は、A4 までのカラー原稿を読み取ることのできるレスキャナ装置です。

本書では、ScandAll PRO を使用した読み取り方法について説明しておりますが、本製品に添付されている ScandAll PRO は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。その際に、本書の説明が実際の画面と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
ScandAll PRO については、別マニュアルの「ScandAll PRO ユーザーズガイド」を参照してください。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ISIS は、EMC Corporation の米国における登録商標または商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

| | |
|------------------------|--|
| Windows 2000 | Windows [®] 2000 Professional operating system 日本語版 |
| Windows XP | Windows [®] XP Home Edition operating system 日本語版、 Windows [®] XP Professional operating system 日本語版 (32/64 ビット版) |
| Windows Server 2003 | Windows Server [®] 2003, Standard Edition 日本語版 (32 / 64 ビット版) Windows Server [®] 2003 R2, Standard Edition 日本語版 (32 / 64 ビット版) |
| Windows Vista | Windows Vista [®] Home Basic operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows Vista [®] Home Premium operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows Vista [®] Business operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows Vista [®] Enterprise operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows Vista [®] Ultimate operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版) |
| Windows Server 2008 | Windows Server [®] 2008 Standard 日本語版 (32 / 64 ビット版) Windows Server [®] 2008 R2 Standard 日本語版 |
| Windows 7 | Windows [®] 7 Home Premium operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows [®] 7 Professional operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows [®] 7 Enterprise operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows [®] 7 Ultimate operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版) |
| Windows Server 2012 | Windows Server [®] 2012 Standard 日本語版 (64 ビット版) |
| Windows 8 | Windows [®] 8 operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows [®] 8 Pro operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版)、 Windows [®] 8 Enterprise operating system 日本語版 (32 / 64 ビット版) |

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

開発・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)
TEL: 044-540-4538

© PFU LIMITED 2006-2013

■ 本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。なお、本書に記載している画面は、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバ、および画像読み取り用アプリケーション ScandAll PRO のものです。

第1章

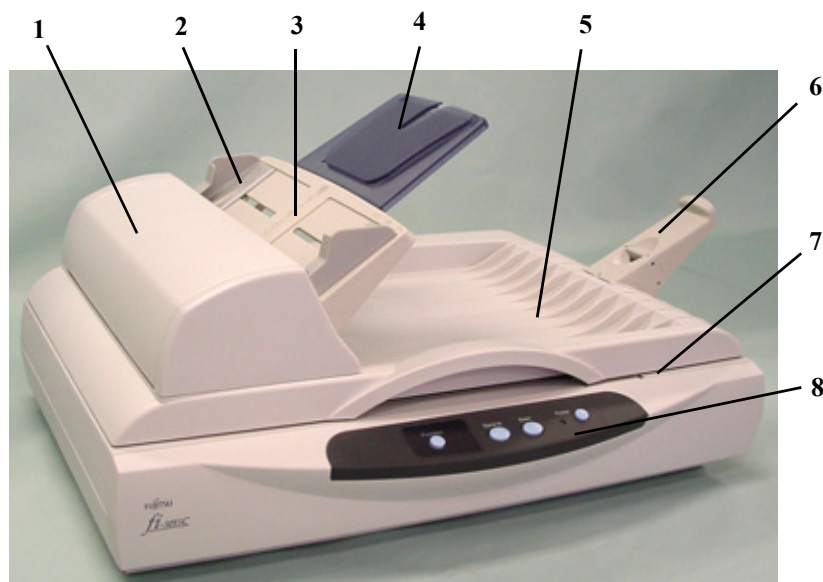
スキャナ各 부품の名称

この章では、スキャナの外觀と各 부품の名称およびその機能について説明します。

| | |
|-----------------------|---|
| 1.1 本体の各部の名称と働き | 2 |
| 1.2 操作パネル | 5 |

1.1 本体の各部の名称と働き

1. スキャナ正面



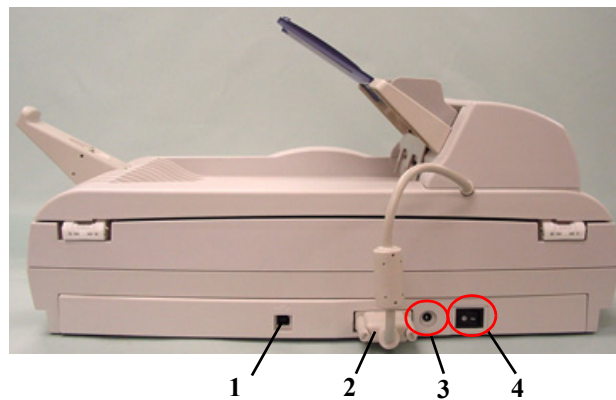
| 名 称 | 機 能 |
|-----------------|---|
| 1. ADF(自動給紙部) | 原稿を1枚ずつ自動的に読み取り位置に送り込みます。 |
| 2. サイドガイド | 原稿をまっすぐにそろえます。 |
| 3. ADF 給紙シュート A | 原稿を ADF (自動給紙機) に送るときに原稿を支えます。 |
| 4. ADF 給紙シュート B | 長い原稿を給紙する際、伸ばして使用します。 |
| 5. 原稿カバー | ADF で読み取った後の原稿を受けます。 原稿台で原稿を読み取る場合、原稿を押さえます。 |
| 6. 原稿ストッパー | 排出される原稿がバラバラにならないように長さ方向を規制します。 |
| 7. フラットベッド | 原稿が ADF で給紙できないときにお使いください。 |
| 8. 操作パネル | スキャナの電源の投入・切断、原稿読み取りの開始 ([Send to] または [Scan] ボタン) の操作、およびファンクションナンバーの表示をします。 |

2. フラットベッド部



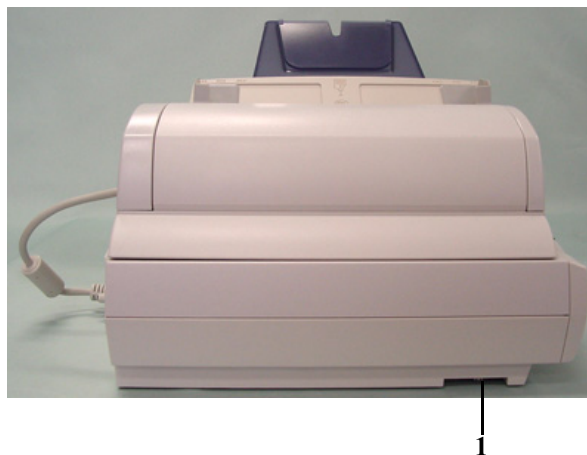
| 名 称 | 機 能 |
|-------------|--------------------|
| 1. 原稿押さえパッド | 原稿を押さえます。 |
| 2. 原稿台 | 原稿の読み取り面を下にしておきます。 |

3. 背面

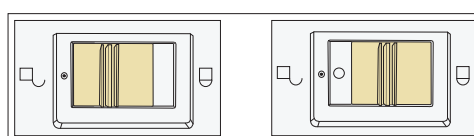


| 名 称 | 機 能 |
|------------------|--------------------------------|
| 1. USB コネクター | USB ケーブルを差し込み、スキャナとパソコンを接続します。 |
| 2. ADF ケーブルコネクター | ADF を本体と接続するケーブルを差し込みます。 |
| 3. AC アダプタコネクター | AC アダプタのケーブルを差し込みます。 |
| 4. メイン電源スイッチ | スキャナ装置の電力供給をオン・オフします。 |

4. 側面 (ADF 側)



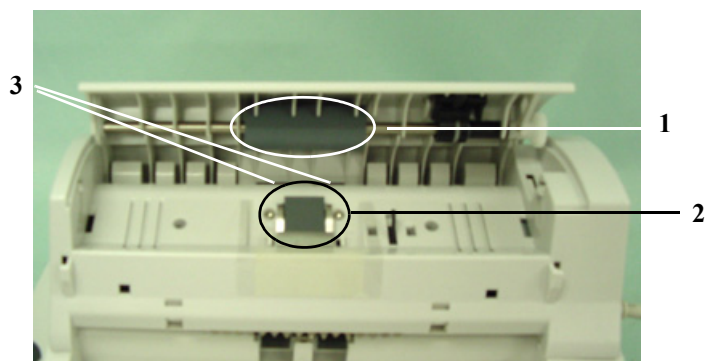
| 名 称 | 機 能 |
|--------------|---|
| 1. 輸送ロックスイッチ | 1. スキャナの破損を防止するために読み取り用ヘッドを輸送時に固定するためのスイッチです。 |



解除

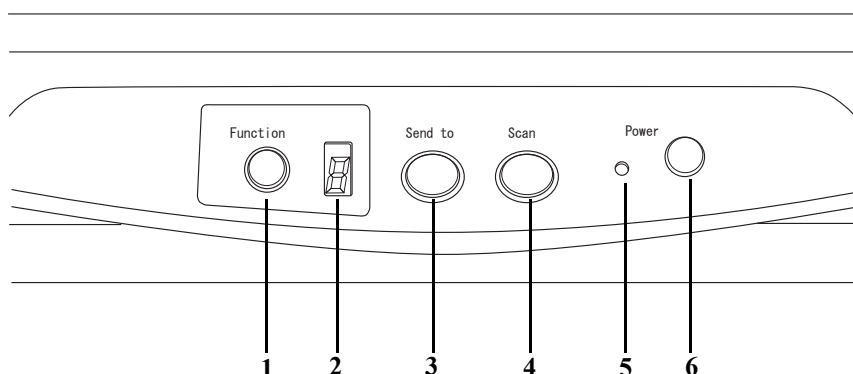
ロック

5. ADF 内部



| 名 称 | 機 能 |
|---------------|-----------------|
| 1. ピックローラユニット | 分離した原稿を送ります。 |
| 2. パッドユニット | 原稿を 1 枚ずつ分離します。 |
| 3. ピンチローラ | 原稿をはさみます。 |

1.2 操作パネル



| 名 称 | 機 能 |
|----------------------|--|
| 1. Function ボタン | [Send to] ボタンの機能を変更します。 |
| 2. ファンクションナンバーディスプレイ | 操作の状態を表示をします。詳細は「4.1 ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示」(52 ページ) を参照してください。 |
| 3. [Send to] ボタン | ファンクションナンバーディスプレイで表示された番号に関連付けされたアプリケーションを起動します。 |
| 4. [Scan] ボタン | 関連付けされたアプリケーションを起動します。 |
| 5. 電源 LED | スキャナの電源が投入されているときに点灯します。 |
| 6. 電源ボタン | 電源のオン・オフを行います。 |

第2章

2

基本的な操作について

この章では、スキャナの電源の投入、切断、原稿の読み取り、およびスキャナドライバの基本的な操作について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。
お使いの OS によって表示される画面、および操作が多少異なります。
また、TWAIN ドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。
その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

| | |
|------------------------------|----|
| 2.1 電源の投入および切断 | 8 |
| 2.2 ADF に原稿をセットします | 13 |
| 2.3 原稿台に原稿をセットします | 18 |
| 2.4 原稿の読み取り方法 | 20 |
| 2.5 スキャナドライバの使い方 | 23 |
| 2.6 画像読み取り用アプリケーションの紹介 | 31 |

2.1 電源の投入および切断

1. 電源を投入します

操作パネルの電源ボタンを押します。

電源が投入され、操作パネルの緑色の LED ランプが点灯します。

なお、イニシャル処理実行中は操作パネルのファンクションナンバーディスプレイが“8” → “P” → “0” → “1” の順に変化します。

操作パネルが“1”の状態が、レディ状態です。

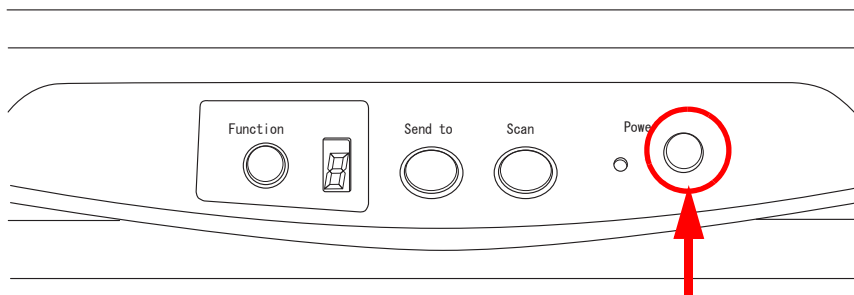


まって! メイン電源スイッチが ON になっていないと動作しません。



2. 電源を切断します

電源を切断するときは、電源ボタンを 2 秒間以上押してください。



まって! メイン電源スイッチを OFF する場合は、先に操作パネルの電源ボタンで電源を切断してください。
メイン電源スイッチで直接電源を切断した場合、USB2.0 対応ハブを介して接続されている他の USB 機器が動作しなくなる場合があります。



■電源の ON/OFF について

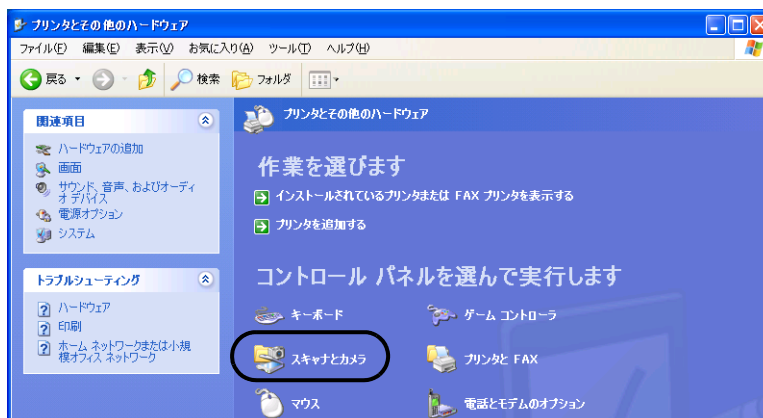
電源の ON/OFF は、操作パネルの電源ボタンを使用して ON/OFF するか、または電源ケーブルの抜き差しで電源を ON/OFF するかを選択することができます。手順は以下のとおりです。

1. スキャナのプロパティを開きます。
 - 1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。スキャナとパソコンの接続については、「fi-5015C スタートアップガイド 2.3 スキャナとパソコンを接続します」を参照してください。
 - 2) パソコンのコントロールパネル内にある「プリンタとその他のハードウェア」のアイコンをダブルクリックします。



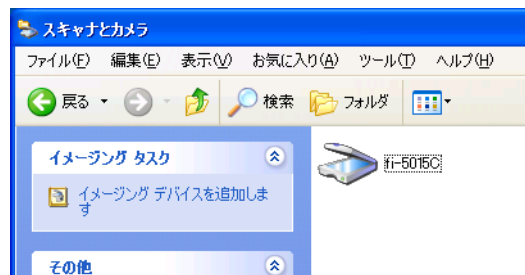
⇒ 「プリンタとその他のハードウェア」の画面が表示されます。

- 3) 「プリンタとその他のハードウェア」の画面で、「スキャナとカメラ」のアイコンをダブルクリックします。



⇒ 「スキャナとカメラ」の画面が表示されます。

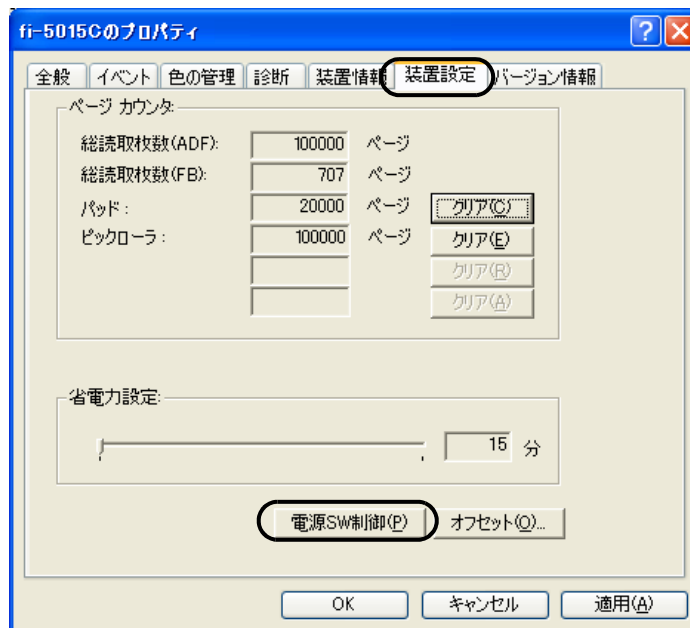
- 4) 「fi-5015C」のアイコンを右クリックしてプロパティを選択（Windows XP, Windows Server 2003 の場合）、あるいはダブルクリック（Windows 2000, Windows Vista の場合）します。



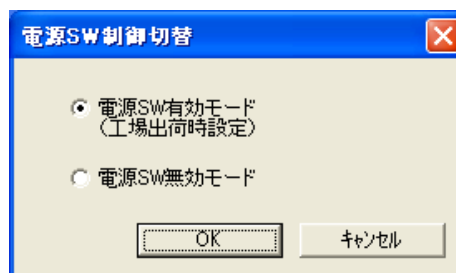
⇒ [fi-5015Cのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



- 5) 「装置設定」タブをクリックします。
⇒ 以下の画面が表示されます。

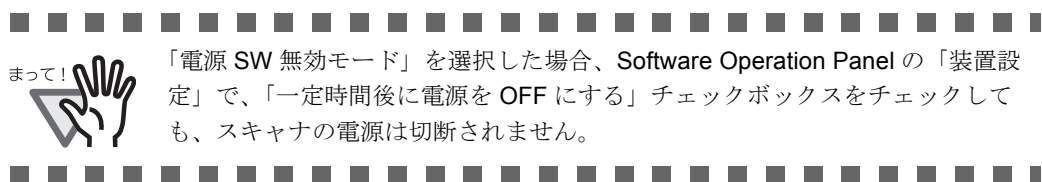


2. [電源 SW 制御] ボタンをクリックします。
⇒ 以下の画面が表示されます。



3. 電源 SW 制御切替を設定します。

- スキャナの電源ボタンで電源を ON / OFF する場合 :
⇒ 「電源 SW 有効モード」 を選択します。
- 電源ケーブルを抜き差しして電源を ON / OFF する場合 :
⇒ 「電源 SW 無効モード」 を選択します。



■ 省電力モードについて

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが操作されない場合に消費電力を低電力状態に保つことです。

スキャナの電源を投入したままで 15 分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。操作パネルの緑色の LED ランプは点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のいずれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュートに原稿をセットする
- 操作パネルのボタンを押す
電源ボタンを 2 秒以上押しつづけると、電源が切れます。
- スキャナドライバからコマンドを実行する

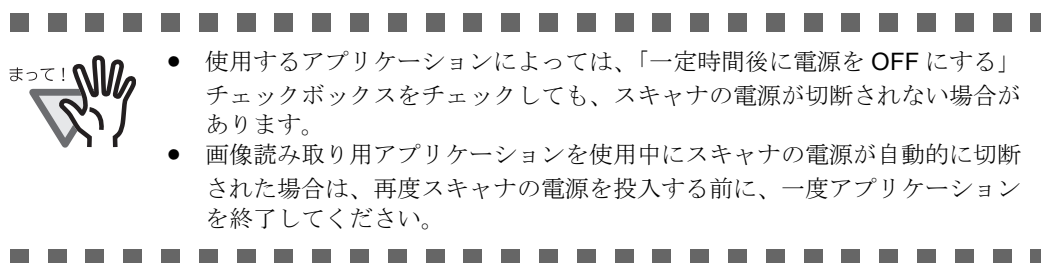
また、スキャナの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動的にスキャナの電源が切断されるように設定できます。

自動的にスキャナの電源が切断されるように設定すると、スキャナが待機中の消費電力を低減できます。

自動的にスキャナの電源が切断されるようにするには、Software Operation Panel の「装置設定」で、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックしてください。

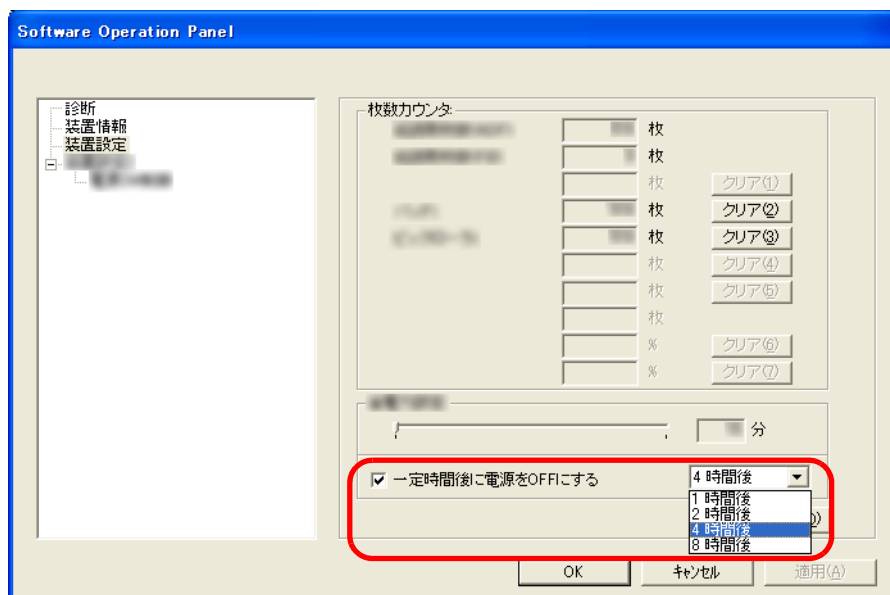
自動的にスキャナの電源が切断された場合に、再度スキャナの電源を投入するには、スキャナの電源ボタンを押します。

詳細については、「2.1 電源の投入および切断」(8 ページ) を参照してください。



以下に、自動的にスキヤナの電源が切断されるようにする手順について説明します。

1. スキヤナとコンピュータが接続されていて、電源が ON になっていることを確認します。
2. [スタート]メニュー→[すべてのプログラム]→[Scanner Utility for Microsoft Windows] → [Software Operation Panel] をクリックします。
⇒ 「Software Operation Panel」画面が表示されます。
3. Software Operation Panel の以下の画面で設定します。



- 本機能を有効にするには、「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスをチェックします。
- 設定時間は、1, 2, 4, 8 時間の 4 種類から選択できます。



ヒント

本機能は、装置図番 (Part No.) により、初期設定が以下のように異なります。

| Part No. | 初期設定 |
|-------------|---------------------|
| PAxxxx-Bxx1 | 有効 (4時間後に電源をOFFにする) |
| PAxxxx-Bxx2 | 無効 |
| PAxxxx-Bxx3 | |
| PAxxxx-Bxx5 | |
| PAxxxx-Bxx7 | |

※ Part No. については、スキヤナに貼り付けてある「装置ラベル」で確認してください。



2.2 ADF に原稿をセットします

ここでは、原稿の条件のチェック方法および ADF（自動給紙機）への原稿の置き方について説明します。これらの手順は紙詰まりや読み取りエラーを防ぐために大変重要です。

2.2.1 原稿の条件について

読み取る原稿が次の条件を満たしていることを確認してください。



- 原稿がこれらの条件を満たしていないときは、フラットベッド（原稿台）を使用して一枚ずつ読み込んでください。（「2.3 原稿台に原稿をセットします」（18 ページ）を参照）
- 推奨される用紙以外の原稿を ADF で読み取った場合、用紙づまりや用紙にシワが発生する場合があります。このような場合は、フラットベッドで読み取りを行ってください。

■ 原稿サイズ

| | | |
|----------|------------------------|-------------------|
| ADF の場合： | 最小 115(幅) x 140(長さ) mm | (4.53 x 5.51 in.) |
| | 最大 216(幅) x 355(長さ) mm | (8.5 x 14 in.) |

■ 原稿の種類

原稿として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙

上記以外の種類の用紙を使用する時には、読み取り操作を実行する前に、原稿を読み取ることができるかどうかを少量の用紙で確認してください。

なお、フラットベッドでは用紙の種類による原稿の制限はありません。

■ 原稿の紙厚

紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。使用可能な坪量は以下の通りです。

- 52 g/m² ~ 127 g/m²

■ 事前の注意

以下の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 紙厚が一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわがよっていたり、カールしている原稿（15 ページのヒントを参照）
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- ノーカーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目や穴あけのある原稿
- 四角形でない原稿

- 非常に薄い原稿
- 写真

また、以下の原稿は使用しないでください。

- クリップまたはステーブラーの針が付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- 紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルム
- 非常に薄い原稿
- 証書や金券など、媒体が傷ついたり汚れたりしてはならない重要書類



- 半透明の原稿を読み取る時は、「明るさ」を明るめに設定してください。
- ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。



- ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラ類（ピックローラユニットなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。

清掃：

原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットとピックローラユニットを清掃してください。

パッドユニットとピックローラユニットの清掃方法については、「3.2.3 ADF を清掃します」(37 ページ) を参照してください。

部品の交換：

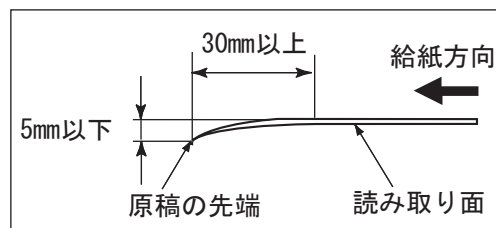
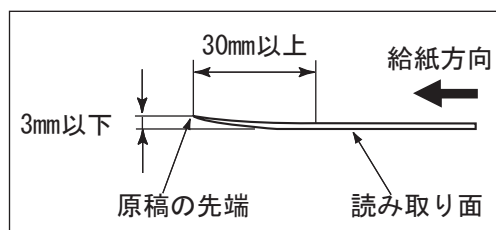
パッドユニットとピックローラユニットの寿命は中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなるかもしれません。

- 中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックローラユニットの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取る際にパットやローラで傷つく可能性があります。
- 写真等の光沢紙を読み取った場合、表面に傷がつく場合があります。



ヒント

ADF を使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。



2.2.2 ADF に原稿をセットします

ここでは ADF に原稿をセットする方法について説明します。

1. 原稿をそろえます。

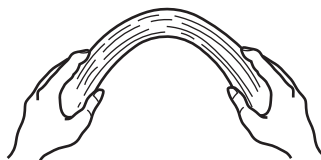
- 1) 原稿の束が 50 枚以下となるように手に取ります。
- 2) セットする原稿の幅がすべて同じであることを確認します。



- セットする原稿の枚数は、50 枚以下とします。50 枚以上セットすると紙詰まりや読み込みトラブルの原因となる場合があります。
- ADF で読み込む場合、原稿台に原稿がないことを確認してください。原稿台に原稿があると、原稿台カバーが持ち上がった状態となり、出力イメージの質が落ちる恐れがあります。

2. 次の手順で原稿をさばきます。

- 1) 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。

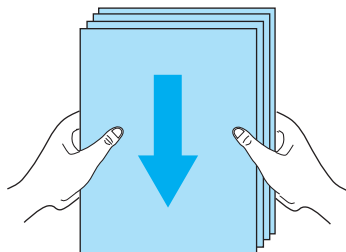


- 2) 原稿の両端にできた傾斜が元にもどらないように、両手で原稿を強くつかみ、湾曲を元に戻します。

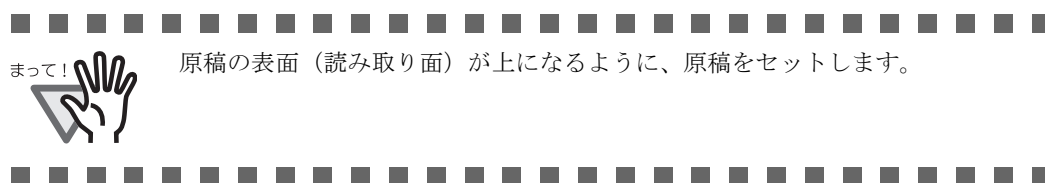


- 3) 操作 1) ～操作 2) の動作を 2 ～ 3 回繰り返します。
- 4) 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

3. 原稿の先端をそろえます。



4. ADF 給紙シュートに原稿をセットします。



5. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



6. 原稿を読み取ります。

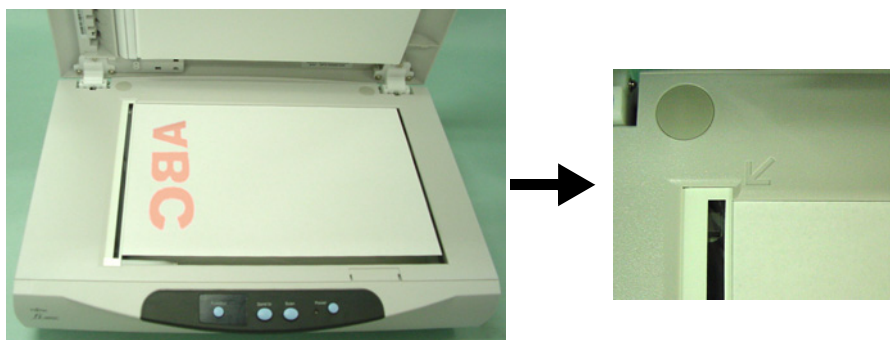
読み取り方法については「2.4 原稿の読み取り方法」(20 ページ)を参照してください。

2.3 原稿台に原稿をセットします

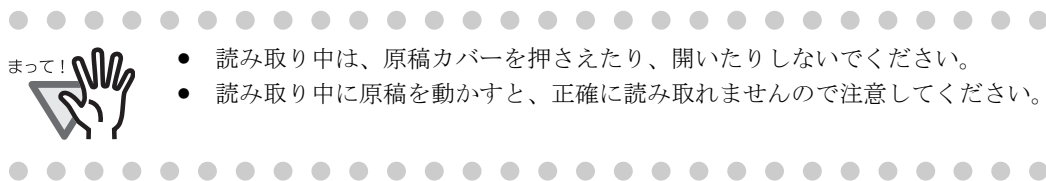


原稿の読み取り中は、目を傷める恐れがありますので、カバーをあげて直接光源を見ないでください。

1. 原稿カバーを開きます。
2. 原稿の表を下にして原稿台（ガラス面）の上に置きます。
3. 原稿を左上の角の印に合わせます。原稿の縦置きおよび横置きの位置は次のとおりです。



4. 静かに原稿カバーを閉じます。
5. 原稿を読み取ります。
読み取り方法については「2.4 原稿の読み取り方法」(20 ページ) を参照してください。



- 読み取り中は、原稿カバーを押さえたり、開いたりしないでください。
- 読み取り中に原稿を動かすと、正確に読み取れませんので注意してください。

■ 厚みのある原稿を読み取る場合について

本のように厚みのある原稿を読み取る場合は、次の点に注意して操作してください。

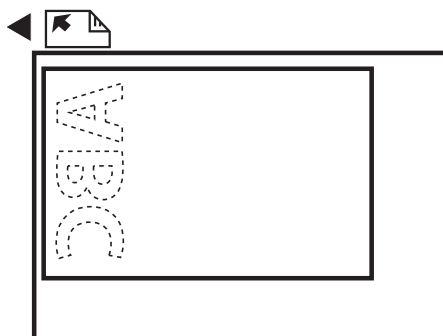
1. 原稿カバーを上方に引き上げると取り出すことができます。
2. 原稿台から浮き上がった部分は、正確に読み取れませんので注意してください。

■ 原稿サイズについて

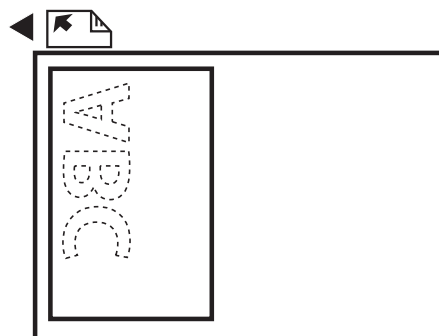
原稿台の場合： 最小 26 (幅) x 26 (長さ) mm (1 x 1 in.)
最大 216 (幅) x 297 (長さ) mm (8.5 x 11.7 in.)

原稿の縦置き、横置きの向きと用紙サイズの設定については次のとおりです。

縦置き

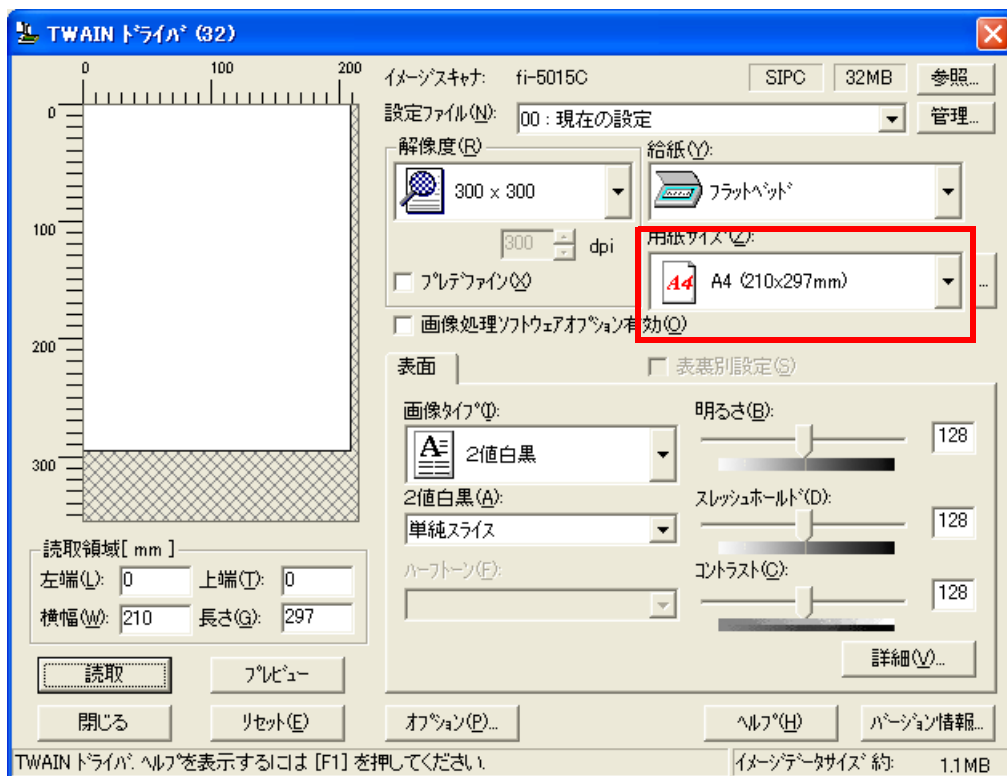


横置き



- 用紙サイズの設定
次のドライバ画面で A4、A5、B5、レター、エグゼクティブの中から設定します。

- 用紙サイズの設定
次のドライバ画面で A5 横を設定します。



2.4 原稿の読み取り方法

ここでは例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動して原稿を読み取る方法について説明します。

1. スキャナに原稿をセットします。

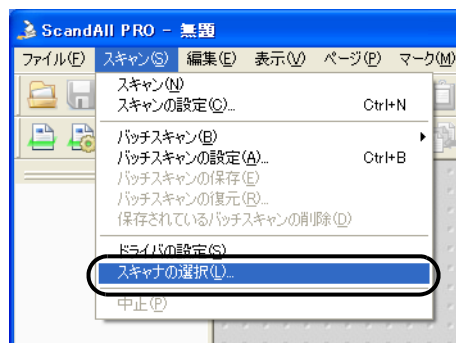
原稿のセット方法については、「2.3 原稿台に原稿をセットします」(18 ページ)、「2.2 ADF に原稿をセットします」(13 ページ)を参照してください。

2. ScandAll PRO を起動します。

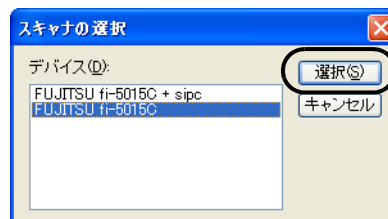
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [Fujitsu ScandAll PRO] - [ScandAll PRO] の順に選択します。
⇒ ScandAll PRO が起動されます。

3. 使用するスキャナを指定します。

[スキャン] メニューから [スキャナの選択] を選択します。



⇒ [スキャナの選択] ダイアログボックスが表示されます。
「FUJITSU fi-5015C」を選択して、[選択] ボタンをクリックします。



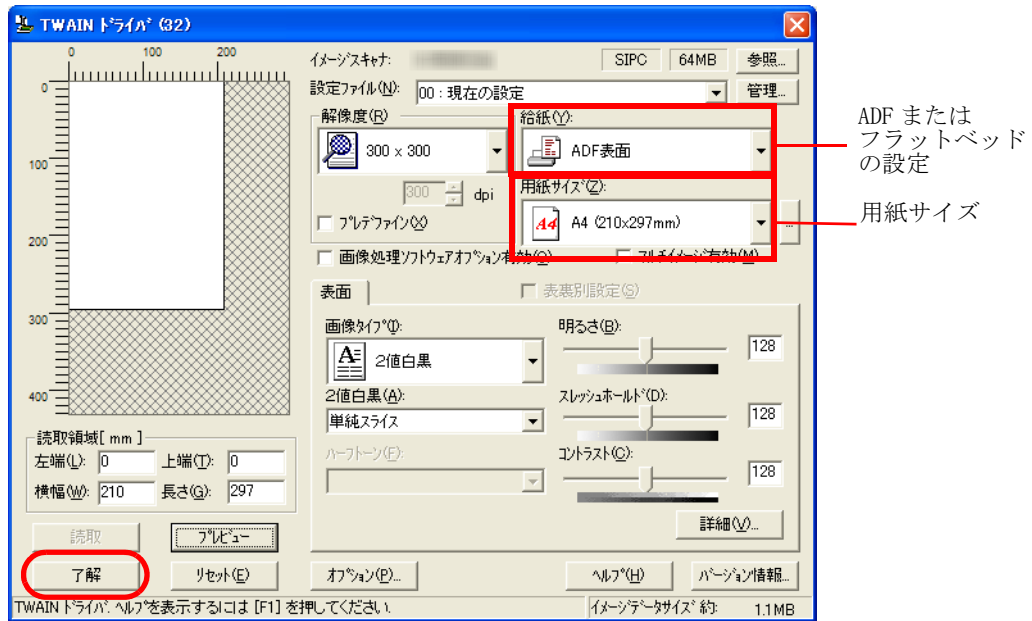
4. [スキャン] メニューから [スキャンの設定] を選択します。

⇒ [スキャンの設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ドライバーの設定] ボタンをクリックします。

⇒ [TWAIN ドライバ] ダイアログボックス (読み取り条件を設定する画面) が表示されます。

6. 給紙、原稿サイズ（以下の図参照）などを設定して、[了解] ボタンをクリックします。
 [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスのその他の設定については、「2.5 スキャナドライバの使い方」(23 ページ) を参照してください。



⇒ [スキヤンの設定] ダイアログボックスに戻ります。

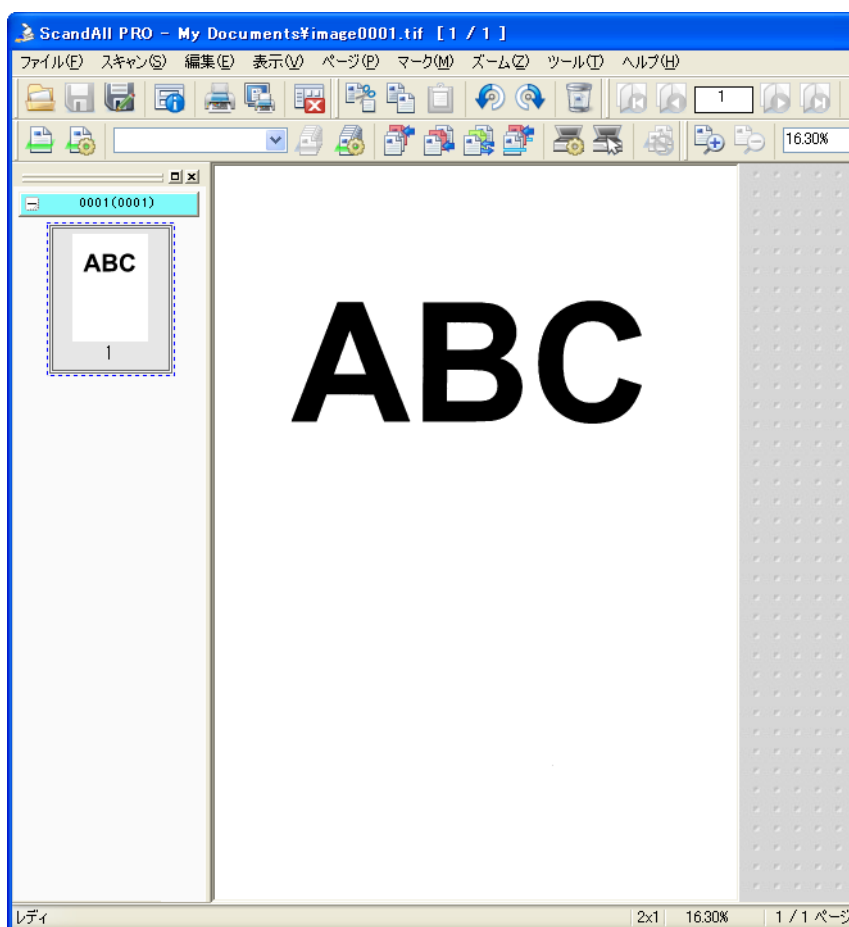
7. [スキヤン] ボタンをクリックします。



ヒント

TWAIN ドライバの場合は、もう一度、スキャナドライバの設定画面が表示される場合があります。その場合は、画面上の [読取] ボタンをクリックしてください。

⇒ 原稿が読み取られ、ScandAll PRO の画面にイメージが表示されます。



ScandAll PRO の機能・操作については、「ScandAll PRO のヘルプ」を参照してください。

2.5 スキャナドライバの使い方

スキャナで読み取りを行うためには、スキャナドライバと、そのドライバに対応したアプリケーションが必要です。本製品には、TWAIN 規約に準拠した「TWAIN ドライバ」と ISIS 規約に準拠した「ISIS ドライバ」の 2 種類のドライバと、それぞれに対応したアプリケーション「ScandAll PRO」が添付されています。

ここでは、それぞれのスキャナドライバの使い方について説明します。
なお、ScandAll PRO の使い方や、ScandAll PRO からスキャナドライバを呼び出す方法については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

■ TWAIN ドライバ

TWAIN ドライバは、TWAIN 規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うためのドライバソフトウェアです。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います。(アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります。)

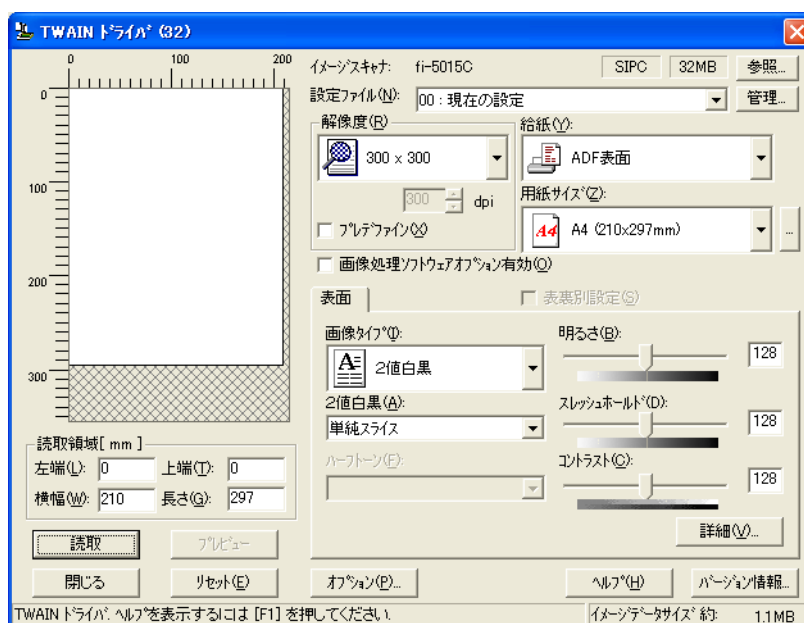


ヒント

スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳しくは、ご使用のアプリケーションの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

ScandAll PRO から呼び出す方法については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

■ TWAIN ドライバの設定



TWAIN ドライバはこの画面で設定します。

以下に、代表的な設定項目について説明します。

- 各機能の詳細については、「TWAIN ドライバ ヘルプ」を参照してください。
([ヘルプ] ボタン、または [F1] ボタンを押すと表示されます。)

解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。

定型 (リストから選択) およびカスタム指定 (1dpi 刻みで、任意の解像度を指定) ができます。

また、「プレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りを行うことができます。

プレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

給紙

ADF で読み取るか、フラットベッド (原稿台) で読み取るかを選択します。

用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。

[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。

また、表示されるリストの並び順を変更することもできます。

画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

2 値白黒 白と黒の2階調で読み取ります。

ハーフトーン 白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。

グレースケール 読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256 階調および4ビット (16 階調) の中から選びます。

カラー カラーで読み取ります。24 ビット、256 色、8 色の中から選びます。

[読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

[プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。

現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示します。

[閉じる] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

[リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

[ヘルプ] ボタン

TWAIN ドライバのヘルプを表示します。[F1] ボタンでも表示することができます。

[バージョン情報] ボタン

TWAIN ドライバのバージョン情報を表示します。

[オプション] ボタン

以下の画面で、オプション機能を設定します。



[回転] タブ

画像の回転を設定します。

[動作] タブ

キャッシュ、ブランクページスキップなどを設定します。

[全般] タブ

TWAIN ドライバ画面に表示される単位を設定します。

ミリ (mm)、インチ (inch)、ピクセル (pixel) の中から選択します。

[起動] タブ

スキャナ操作パネルに関して設定します。

[フィルタ] タブ

画像処理フィルタを設定します。

縁消しフィルタ： 読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

デジタルエンドーサ： 読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。

[詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。

ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転などの設定が可能です。

[管理] ボタン

設定ファイルの管理を行います。

TWAIN ドライバ画面で設定した内容を、[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。

各機能の詳細については、「TWAIN ドライバのヘルプ」を参照してください。

■ ISIS ドライバ

ISIS ドライバは、ISIS 規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うためのドライバソフトウェアです。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います。(アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります。)



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳しくは、ご使用のアプリケーションの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

ScandAll PRO から呼び出す方法については、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。

■ ISIS ドライバの設定

[メイン] タブ



画像タイプ

メニューから使用する色調モードを選択します。以下のモードが設定できます。

- | | |
|---------------|---|
| 2値白黒 | 白と黒の2階層で読み取ります。 |
| 256-階調グレースケール | 原稿は254段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり8ビットを使用します。 |
| 24-ビットカラー | 原稿は24ビットフルカラーで読み取られます。このモードはカラー写真の読み取りに適していますが、グレースケールモードよりメモリを消費します。 |

画像処理

画像処理ソフトウェアがインストールされている場合に表示されます。
このモードは画像処理ソフトウェアにて画像処理を行う場合に選択します。

解像度

1インチあたりのピクセル数（ドット数）を指定します。指定には、あらかじめ設定された解像度を一覧から選択するか、75,100,150,200,300,400,500,600の間の値を入力します。解像度が高いほど消費されるメモリも増加します。

明るさ

1（最も暗い）から255（最も明るい）までの値でイメージ全体の明るさを設定します。画像を明るくするには値を高くし、暗くするには値を低く設定します。

コントラスト

読み取った画像のコントラストを設定します。1（ソフト）から255（シャープ）までの値でイメージ全体の明るさを設定します。陰影を際立たせる場合は値を高く設定します。

ハーフトーン

リストからハーフトーンのパターンを選択します。この項目は画像タイプで2値白黒が設定されている場合に有効になります。

- | | |
|---------|----------------------|
| 濃い写真画像用 | 色調の濃い写真の読み取りに適しています。 |
|---------|----------------------|

給紙

読み取り方法を指定します。

- | | |
|---------|--|
| 自動設定 | ADFから読み取るか、フラットベッドから読み取るかを判断して、自動的に切り替えます。 |
| フラットベッド | 装置のフラットベッド上におかれた原稿を読み取ります。 |
| ADF（表面） | 原稿の表面を読み取ります。 |

[レイアウト] タブ



原稿サイズ

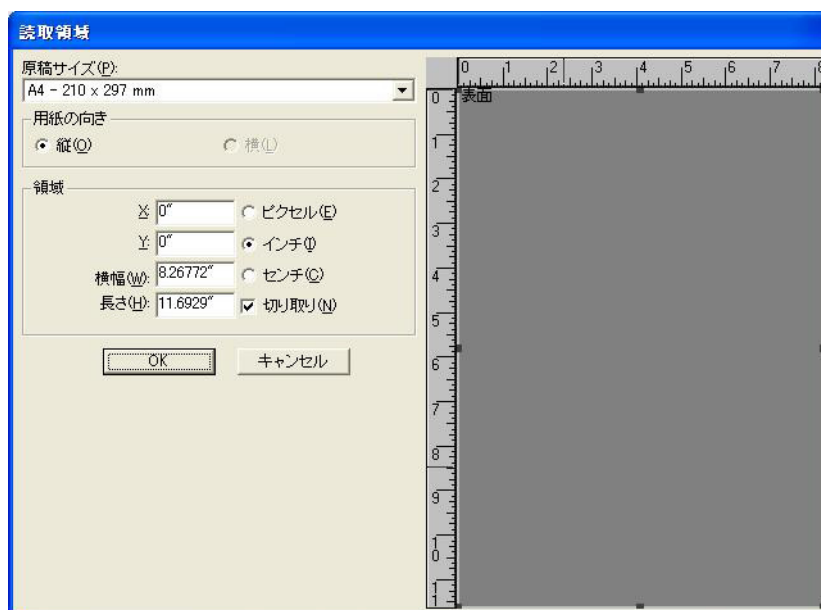
読み取る原稿のサイズを指定します。リストの中から任意のサイズを選択します。

原稿の向き

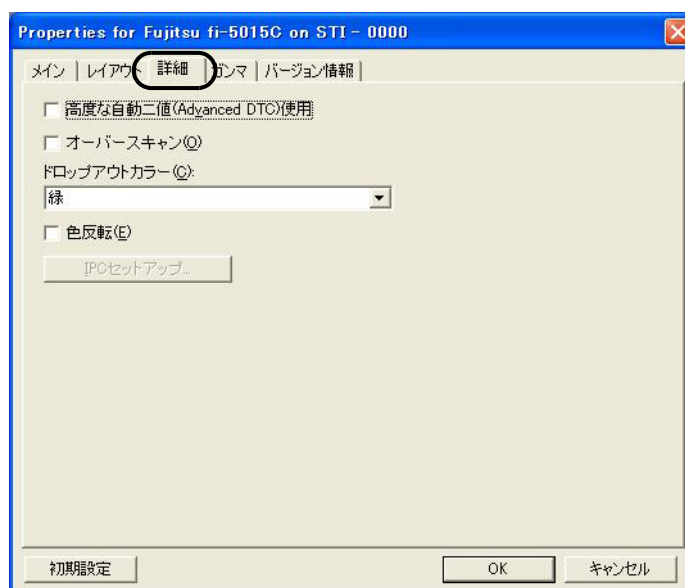
原稿の向き（縦 / 横）を指定します。

[読取領域...] ボタン

「読取領域」画面を表示します。原稿サイズに対する読み取り領域を指定します。領域枠をマウスでドラックして、大きさを調整することができます。また、数値を直接入力して指定することもできます。



[詳細] タブ

**高度な自動二値（Advanced DTC）使用**

原稿によらずに、良好な2値化処理を行います。薄文字や文字の背景に色がついた原稿、カラーチャートなどが含まれた原稿など、通常の2値化処理ではうまく読み取れない原稿もきれいに読み取ることができます。

オーバースキャン

オーバースキャン機能を設定します。[原稿サイズ] で指定した原稿サイズより大きめに読み取ります。

ドロップアウトカラー

指定した色（光の3原色：赤、青、緑および「なし」が選択可能）を読み取った画像から消します。たとえば原稿に緑色の枠で囲まれた黒い文字がある場合、文字だけを読み取って緑色の枠を消すように設定ができます。

色反転

読み取った画像の色を反転します。

IPC セットアップ

画像処理ソフトウェアオプションを設定できます。

[ガンマ] タブ



ダウンロード

任意ガンマパターンをダウンロードして使用することができます。

カスタム

ガンマ、明るさ、コントラスト、シャドウ、ハイライトなどを数値で設定することができます。

[バージョン情報] タブ

ISIS ドライバのバージョン情報が表示されます。



2.6 画像読み取り用アプリケーションの紹介

画像読み取り用アプリケーションについて紹介します。
本書では、画像読み取り用アプリケーションとして、ScandAll PRO を例に説明しています。

ScandAll PRO は、TWAIN/ISIS 両規格に準拠した画像読み取り用アプリケーションです。スキャナの読み取り処理の設定をプロファイルに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。

第3章

日常のお手入れ

この章では、紙詰まりの取り除き方、スキャナの清掃方法、消耗品の交換について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。

お使いの OS によって表示される画面、および操作が多少異なります。

また、TWAIN ドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作と多少異なることがあります。

その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

3



エアスプレーを使用しない

清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。



自動給紙部（ADF）の内部が高温になっている場合がありますので、やけどなどに注意してください。

| | |
|-------------------------|----|
| 3.1 原稿づまりが発生したときは | 34 |
| 3.2 スキャナを清掃します | 35 |
| 3.3 消耗品を交換します | 40 |

3.1 原稿づまりが発生したときは

原稿が詰まった場合は、以下の要領で取り除いてください。



注意

詰まった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。

1. ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. ADF を開きます。



注意

ADF が閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

3. つまっている原稿を取り除きます。



ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。また、読み取りを行う前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。

4. ADF を押してカチッと音がするまで元の位置に戻します。



3.2 スキャナを清掃します

スキャナの性能を保つために、以下のように、必要に応じてスキャナの清掃および消耗品の交換を行ってください。



注意

自動給紙部（ADF）の内部が高温になっている場合がありますので、やけどなどに注意してください。

3.2.1 清掃用品

| 清掃用品 | 型名 | 備考 |
|--|---------------|--|
| クリーナ F1  | FI-C100CF1 *1 | 1 ボトル 布にしみこませて清掃します。*2 |
| クリーニングワイプ | FI-C100CW | 1 箱（24 袋入り） クリーニングワイプは、クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナです。 クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用することができます。*2 |
| 乾いた布 | 市販のもの | |
| ScanAid *3 | FI-501SA | - *2 |

- *1) 大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。
- *2) 清掃用品の詳細については、スキャナをご購入された販売会社、または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。（RM-3 ページ参照）
- *3) ScanAid の詳細については、「付録 A スキャナの仕様」（AP-1 ページ）を参照してください。

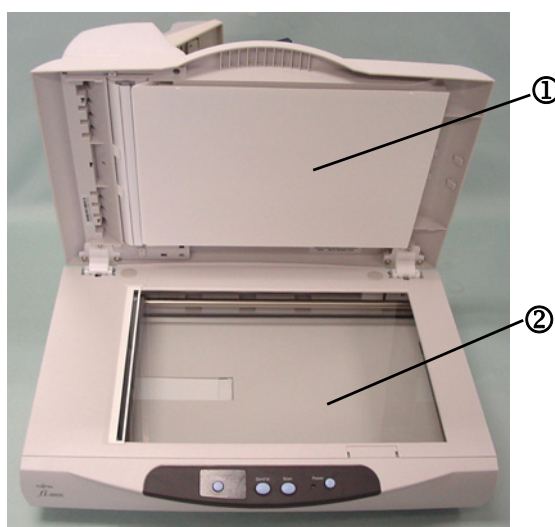
3.2.2 フラットベッドを清掃します



- クリーナF1の代わりに窓拭き用洗剤やガラス用クリーナなどもお使いいただけますが、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 装置内部にクリーナが染み込まないように注意してください。

■ 清掃方法

1. 原稿カバーを開きます。
2. クリーナF1を浸した布で、以下の箇所を清掃します。



- 原稿押さえパッドー ①
軽く清掃します。
- 原稿台ー ②
軽く清掃します。



- 原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナが染み込まないように注意してください。
- 大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

3. 乾くまで待ちます。
4. 原稿カバーをゆっくりと閉じます。

3.2.3 ADF を清掃します

ADF の清掃は、目安として 1000 枚読み取りごとにおこなってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

原稿を ADF で読み取ると、パッドユニットやピックアップユニットがインクやトナー、紙くずなどで汚れることがあります。原稿がスムーズに送られなかったり、複数の原稿が一度に送られたりする場合があります。このような場合は次のように ADF を清掃して元の状態に戻してください。



注意

自動給紙部 (ADF) の内部が高温になっている場合がありますので、やけどなどに注意してください。

3

日常のお手入れ

■ 清掃方法



まって!

ADF 下のガラス表面の清掃をおこなう場合は、AC アダプターをコンセントから抜き、15 分以上待ってから清掃を行ってください。

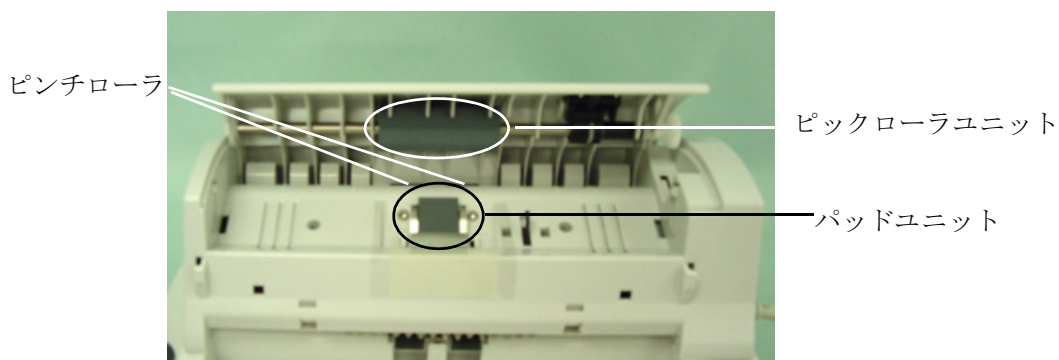
1. ADF を開きます。



注意

ADF が閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

2. クリーナ F1 を浸した布で、以下の場所を清掃します。

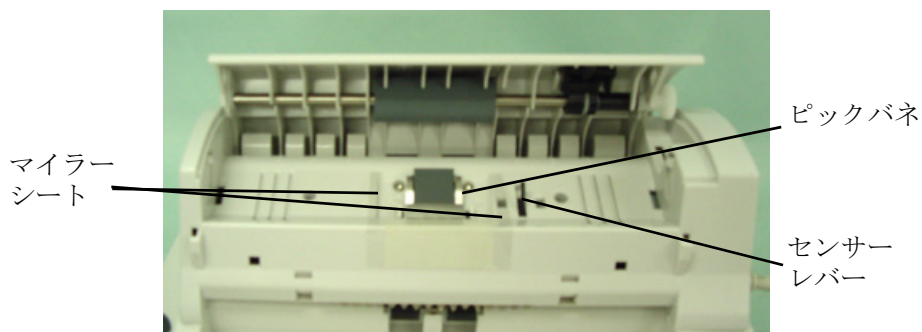


まって!

大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

- パッドユニット

下から上に向かって清掃します。



まって!

ピックアップバネ、センサーレバー、マイラーシートに引っかからないように注意してください。

- ピックローラユニット

ローラの端から端へ布を動かしてピックアップユニットを拭きます。指でローラを回し、ローラの表面をすべて拭くまでこの作業を繰り返します。

- ピンチローラ

ピンチローラの表面を傷つけないように軽く拭きます。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃してください。

- ADF を押して、カチッと音がするまで元の位置に戻します。



まって!

元の位置に戻したときに、ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。

- 次に原稿カバーを開き、以下のところを清掃します。



まって!

ADF 下のガラス表面は、スキャナの動作中は高温になります。やけど等に注意してください。

3.3 消耗品を交換します



自動給紙部（ADF）の内部が高温になっている場合がありますので、やけどなどに注意してください。

3.3.1 消耗品の番号と交換周期

以下に、消耗品の型名と交換周期の目安を示します。

| 品名 | 仕様 | 型名 | 交換周期（目安） |
|------------|--------------|-----------|-------------|
| パッドユニット | PA03209-0550 | FI-C501P | 2万枚または1年ごと |
| ピックアップユニット | PA03209-0551 | FI-C501PR | 10万枚または1年ごと |
| ScanAid *1 | - | FI-501SA | - |

*1) ScanAidの詳細については、「付録 A スキャナの仕様」(AP-1 ページ)を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 (80 g/m²) の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。



まっ! 当社指定の消耗品以外は使用しないでください。



ヒント 各消耗品の使用回数については「3.3.2 消耗品交換の目安」(41 ページ)を参考してください。



3.3.2 消耗品交換の目安

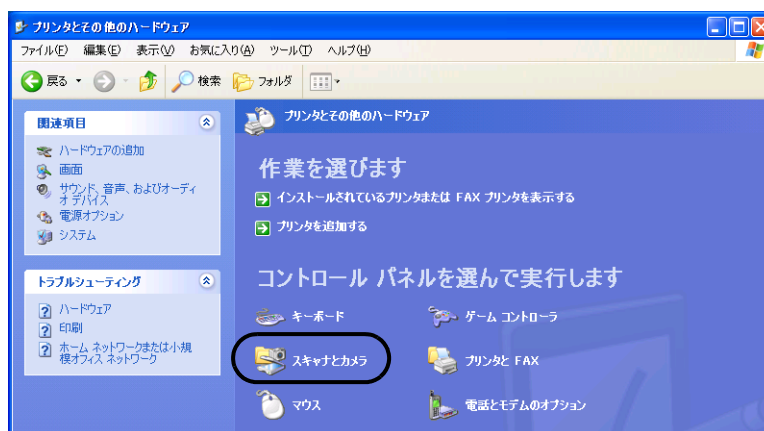
本装置では、消耗品交換の目安、および使用回数を知ることができます。

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
スキャナとパソコンの接続については、「fi-5015C スタートアップガイド 2.3 スキャナとパソコンを接続します」を参照してください。
2. パソコンのコントロールパネル内にある「プリンタとその他のハードウェア」のアイコンをダブルクリックします。



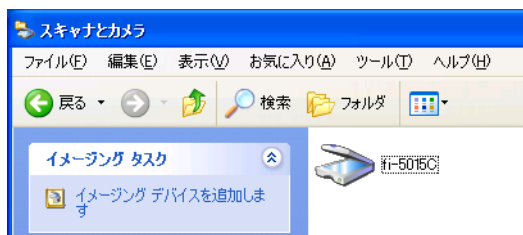
⇒ 「プリンタとその他のハードウェア」の画面が表示されます。

3. 「プリンタとその他のハードウェア」の画面で、「スキャナとカメラ」のアイコンをダブルクリックします。

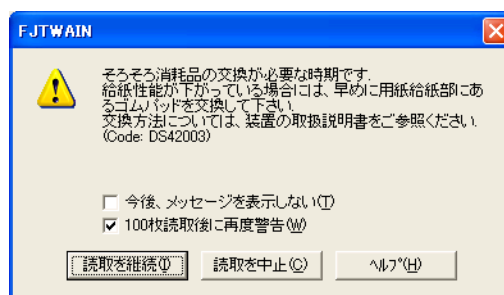


⇒ 「スキャナとカメラ」の画面が表示されます。

4. 「fi-5015C」のアイコンを右クリックしてプロパティを選択（Windows XP, Windows Server 2003 の場合）、あるいはダブルクリック（Windows 2000, Windows Vista の場合）します。



なお、スキャナを使用していると、以下のようなメッセージが表示されることがあります。

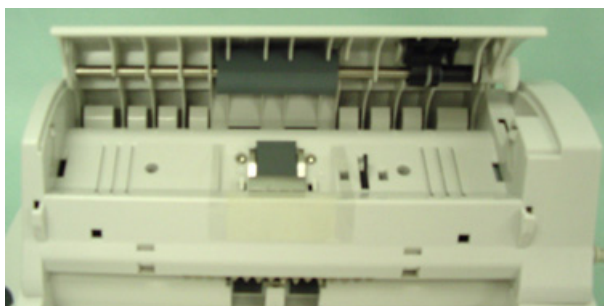


このメッセージが表示されたら、消耗品を交換してください。

[読取を継続] ボタンを押すと、このメッセージが消え、読み取りが続けられます。なるべく早うちにメッセージに表示された消耗品を交換してください。通常 (デフォルト設定) の場合 100 枚読み取り後に再度このメッセージが表れます。このメッセージを次の消耗品交換まで表示したくない場合は [今後、メッセージを表示しない] をチェックします。読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンを押します。

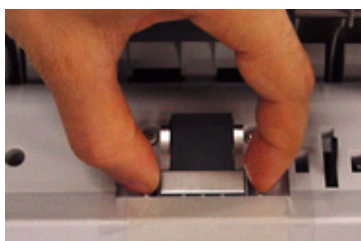
3.3.3 パッドユニットを交換します

1. ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF を開きます。



ADF が閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

3. パッドユニットを、パッドつまみの上の部分を次の図のように指でつまんで取り外します。



4. 新しいパッドユニットを取り外しと逆の手順で取り付けます。



パッドユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起すおそれがあります。

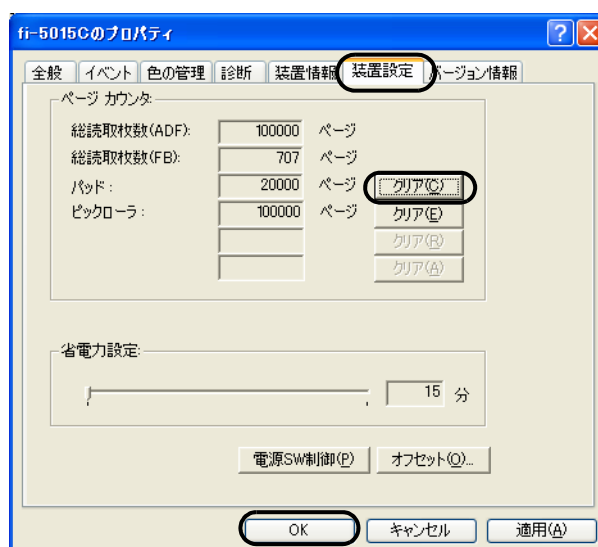


5. ADF を押して、カチッと音がするまで元の位置に戻します。



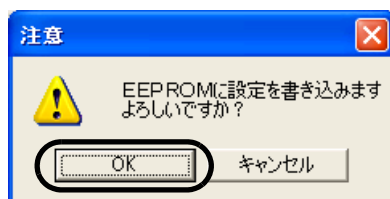
6. パッドのページカウンタをリセットします。

- 1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
- 2) ホストコンピュータのコントロールパネル内より [スキャナとカメラ] を選択します。
- 3) fi-5015C のプロパティを開きます。
⇒ [fi-5015C のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 4) [装置設定] タブをクリックします。
⇒ 以下の画面が表示されます。



5) 「ページカウンタ」内の「パッド」の横の [クリア] ボタンをクリックした後、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。



[OK] ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

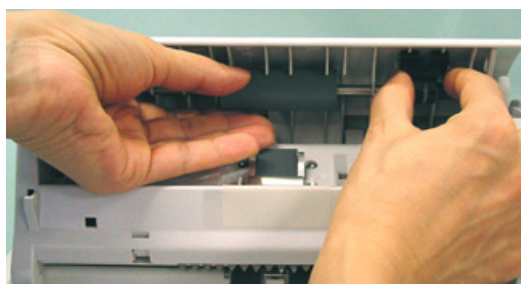
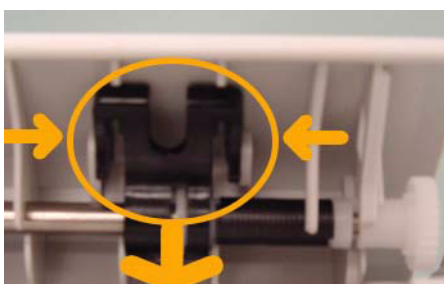
3.3.4 ピックローラユニットを交換します

1. ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF を開きます。



ADF が閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

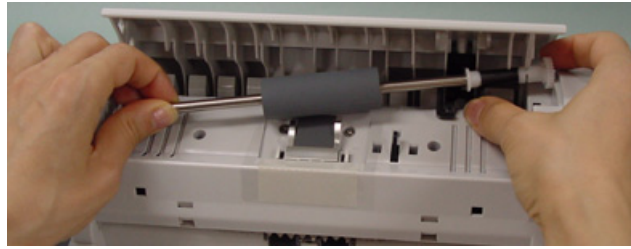
3. ピックローラユニットをスキャナから取り外します。
 - 1) 片手でピックローラユニットを下から支えながら、もう一方の手で止め具をつまみはずします。



2) ピックローラユニットを止め具側に引きます。



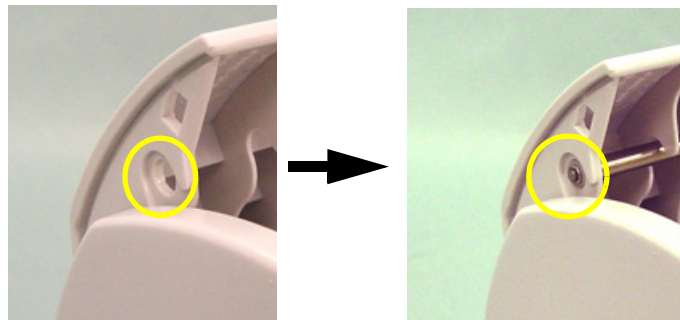
⇒ ピックローラユニットが下方にはずれません。



4. 新しいピックアップローラユニットをスキャナに取り付けます。

ピックアップローラユニットをスキャナから取り外した手順の逆の手順で行います。

1) 軸を、受け穴に差し込み、正しい位置にはめ込みます。



まって!

ピックアップローラユニット軸が受け穴に正しく挿入されていることを確認してください。正しく挿入されていない場合、ADFを完全に閉めることができません。

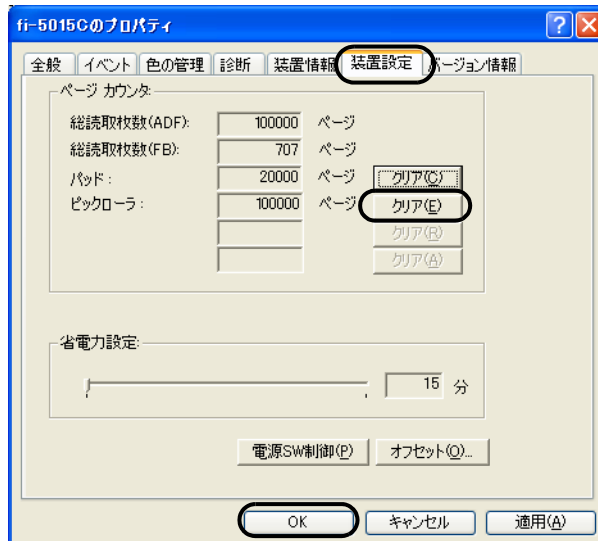
2) 止め具をつまんで元の位置に戻し、ピックアップローラユニット軸を固定します。

5. ADF を押してカチッと音がするまで元の位置に戻します。



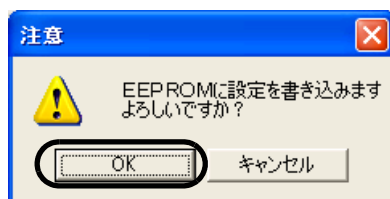
6. ピックローラのページカウンタをリセットします。

- 1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
- 2) ホストコンピュータのコントロールパネル内より [スキャナとカメラ] を選択します。
- 3) fi-5015C のプロパティを開きます。
⇒ [fi-5015C のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 4) [装置設定] タブをクリックします。
⇒ 以下の画面が表示されます。



5) 「ページカウンタ」内の「パッド」の横の [クリア] ボタンをクリックした後、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。



[OK] ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

第4章

困ったときには

この章では、原稿つまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

4

| | |
|-----------------------------------|----|
| 4.1 ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示 | 52 |
| 4.2 トラブルシューティング | 54 |

4.1 ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示

スキャナにトラブルが発生すると、一時的なエラーの場合「U」と数字が、装置異常の場合「E」と数字がそれぞれ交互に、ファンクションナンバーディスプレイに表示されます。一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要となります。

お使いのパソコンに **Error Recovery Guide** がインストールされている場合、**Windows** の起動と同時に **Error Recovery Guide** のウィンドウが表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、**Error Recovery Guide** の画面に表示されます。画面に表示される情報を書き留めて、[詳細] ボタンを押し、対処方法を確認してください。

■ 一時的エラー：

以下の "U" と数字が交互がに表示されます。

| 表示 | 項目 | 対処法 |
|----|------------------|---|
| U0 | 輸送ロックがかかっています。 | ADF 側にある輸送ロックを解除してください。 |
| U1 | 原稿づまりが発生しました。 | 1. つまった原稿を取り除いてください。 (「3.1 原稿づまりが発生したときは」(34 ページ) を参照してください。) 2. 読み取る原稿が ADF での読み取りに適しているかを確認してください。 (「2.2.1 原稿の条件について」(13 ページ) を参照してください。) 適していない場合は原稿台で読み取ってください。 |
| U9 | ADF ケーブルが外れています。 | メイン電源スイッチを OFF してから ADF ケーブルが正しく接続されていることを確認してください (*)。 |

* ADF ケーブルを着脱する場合は必ずメインスイッチ OFF にしてから行ってください。

ヒント



Error Recovery Guide は、**Setup DVD-ROM** に収録されています。
Error Recovery Guide をインストールするには、**fi-5015C** スタートアップガイドの「2.1 ソフトウェアをインストールします」を参照してください。

■ 装置異常：

以下の "E" と英数字が交互に表示されます。

| 表示 | 項目 | 対処法 |
|----|------------------------------|---|
| E0 | 輸送ロックがかかっています。 | ADF 側にある輸送ロックを解除してください。 |
| | 走行系に異常が発生しました。 | |
| E2 | 光学系に異常が発生しました。 | 装置異常が発生した場合は、スキヤナの電源を切ってから再び入れてください。 この方法を試しても症状が改善されないときはご購入の販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター」(RM-2 ページ)に問い合わせしてください。 |
| E7 | 装置内蔵メモリ (EEPROM) に異常が発生しました。 | |
| Eb | LSI に異常が発生しました。 | |
| Ec | メモリに異常が発生しました。 | |
| Ed | USB チップに異常が発生しました。 | |

4.2 トラブルシューティング

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。
項目を点検しても直らない場合は、ご購入の販社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにお問い合わせください。

| 症 状 | 点検項目 | 対処法 |
|-----------------------|---|--|
| 電源が入らない。 | メイン電源スイッチが ON になっていますか？ | メイン電源スイッチを ON にします。 |
| | 電源ボタンを押しましたか？ | 電源ボタンを押してください。 |
| | AC アダプターおよび AC ケーブルが正しく接続されていますか？ | AC アダプターおよび AC ケーブルを正しく接続してください。 |
| | | AC アダプターおよび AC ケーブルを一度抜いて、再び挿入してください。この方法を試しても電源が入らない場合は、担当保守員、ご購入の販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター」(RM-2 ページ) に問い合わせしてください。 |
| Windows は正常に起動していますか？ | Windows の起動が終了するまで待つから、再度電源ボタンを押してください。 | |
| 読み取りが開始されない。 | 原稿は ADF 給紙シュートに正しくセットされていますか？ | 原稿を ADF 給紙シュートに正しくセットしてください。 |
| | ADF は完全に閉まっていますか？ | ADF を完全に閉めてください。 |
| | USB ケーブルは正しく接続されていますか？ | ケーブルを正しく接続してください。(USB ハブをお使いの場合は、ハブの電源をチェックしてください) |
| | ファンクションナンバーディスプレイにエラーまたはアラームが表示されていますか？ | ファンクションナンバーディスプレイにエラーまたはアラームが表示されている場合は、fi-5015C オペレーターガイド「4.1 ファンクションナンバーディスプレイのエラー表示」(52 ページ) を参考にして解除してください。 |
| | スキャナの電源を切ってから再び入れてもアラームが表示されたままですか？ | スキャナの電源を入れ直ししても症状が改善されないときは、担当保守員、ご購入の販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター」(RM-2 ページ) に問い合わせしてください。 |
| 読み取った画像に縦線が出る。 | ガラス部が汚れていますか？ | fi-5015C オペレーターガイド「第 3 章 日常のお手入れ」を参考にして、ガラス部を清掃してください。 |
| 画像の出力結果がずれる、またはゆがむ。 | 原稿は正しくセットされていますか？ | 原稿を正しくセットしてください。 |

| 症 状 | 点検項目 | 対処法 |
|--|--|--|
| 読み取り結果がよくない。 | ガラス部が汚れていますか？ | 汚れている箇所を清掃してください。 |
| マルチフィード*が頻繁に起こる。 *「マルチフィード」とは複数の原稿が一度に送り込まれるエラーのことです。 | fi-5015C オペレーターガイド「2.2.1 原稿の条件について」(13 ページ)の条件は満たしていますか？ | 満たしていない場合は、フラットベッドで読み取ってください。 |
| | 原稿は ADF 給紙シュートに正しくセットされていますか？ | 読み取りの前に原稿の束をさばいて、きちんと端をそろえてから ADF 給紙シュートにセットしてください。詳しくは、「2.2 ADF に原稿をセットします」(13 ページ)を参照してください。 |
| | 原稿の束の厚さが 4mm を超えていますか？ | 原稿用紙の枚数を 4mm まで減らしてください。 |
| | パッドユニットが汚れていますか？ | パッドユニットを清掃してください。詳しくは、fi-5015C オペレーターガイド「3.2.3 ADF を清掃します」(37 ページ)を参照してください。 |
| | パッドユニットが磨耗していますか？ | パッドユニットを交換してください。詳しくは、fi-5015C オペレーターガイド「3.3.3 パッドユニットを交換します」(44 ページ)を参照してください。 |
| 原稿が送り込まれない。 (原稿送り込み異常が頻繁に発生する、もしくは原稿が途中で止まる。) | 原稿は fi-5015C オペレーターガイド「2.2.1 原稿の条件について」(13 ページ)の条件を満たしていますか？ | 満たしていない場合は、フラットベッドで読み取ってください。 |
| | フラットベッドに厚い原稿を載せていますか？ | 原稿を取り除いてください。 |
| | ピックアップユニットが汚れていますか？ | ピックアップユニットを清掃してください。詳しくは、fi-5015C オペレーターガイド「3.2.3 ADF を清掃します」(37 ページ)を参照してください。 |
| | ピックアップユニットが磨耗していますか？ | ピックアップユニットを交換してください。詳しくは、fi-5015C オペレーターガイド「3.3.4 ピックローラユニットを交換します」(47 ページ)を参照してください。 |
| 読み取った画像が間延びする。 | ピックアップユニットが汚れていますか？ | ピックアップユニットを清掃してください。詳しくは、fi-5015C オペレーターガイド「3.2.3 ADF を清掃します」(37 ページ)を参照してください。 |

| 症 状 | 点検項目 | 対処法 |
|------------------|------------------|---|
| 読み取った画像の先端に影がある。 | ピンチローラが汚れていますか？ | ピンチローラを清掃してください。詳しくは、fi-5015C オペレーターガイド「3.2.3 ADF を清掃します」(37 ページ)を参照してください。 |
| | オフセット量を調整してください。 | [コントロールパネル] から [スキャナとカメラ] を選択し、[装置設定] タブから副走査のオフセット量を調整してください。 |

付録 A

スキャナの仕様

■ 仕様の概要

| 項目 | | 仕様 | | |
|------------|---------|--------------|-------------|-------------|
| 外形寸法 (mm)) | | 幅 | 奥行き | 高さ |
| | | 328 | 447 | 175 |
| 質量 (kg) | | 5.5 | | |
| 入力電源 | 電圧範囲 | AC100 ~ 240V | | |
| | 相 | 単相 | | |
| | 周波数範囲 | 50 / 60Hz | | |
| 消費電力 | 動作中 | 24 W 以下 | | |
| | 待機中 | 5.3 W 以下 | | |
| 環境条件 | 装置状態 | 動作中 | 待機中 | 非使用時 |
| | 温度 | 5 ~ 35 °C | -20 ~ 60 °C | -20 ~ 60 °C |
| | 湿度 | 10 ~ 85% | 8 ~ 95% | 8 ~ 95% |
| オプション | ScanAid | *1 | | |

*1) スキャナに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。



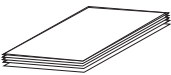
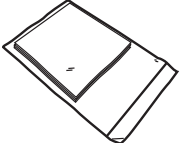
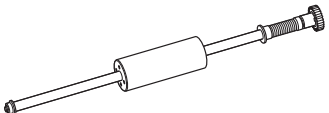
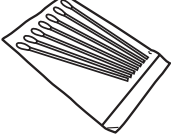
ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。

ScanAid の梱包品については、「ScanAid の梱包品」(AP-2 ページ) を参照してください。

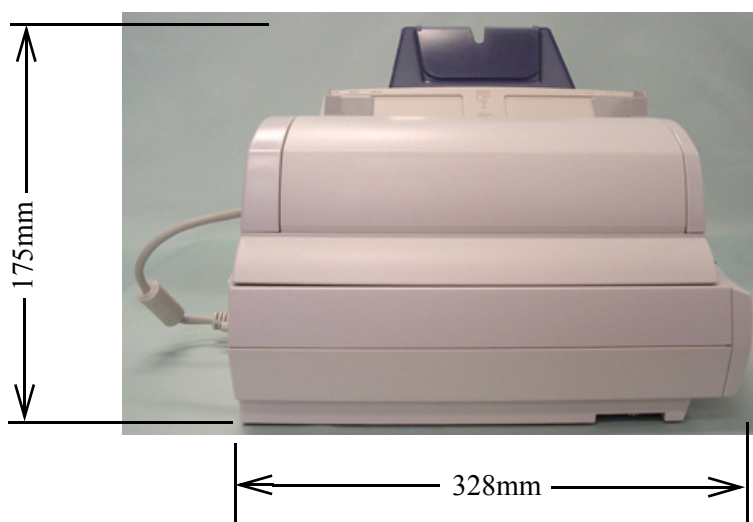
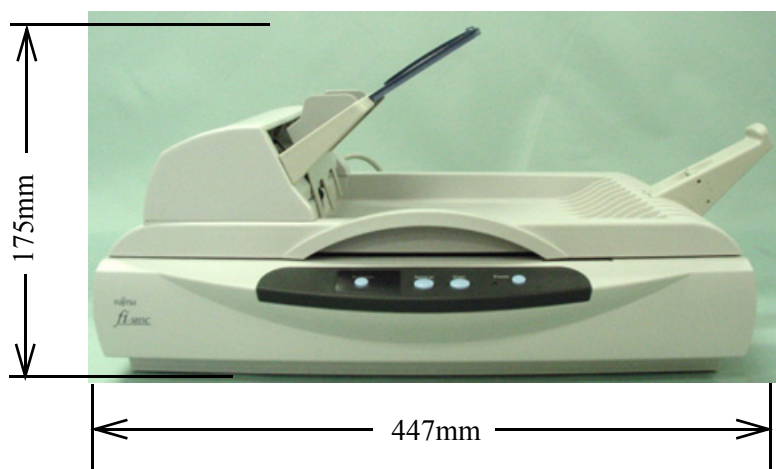
スキャナのオプションのご購入については、株式会社 PFU PFU ダイレクト (RM-3 ページ) にお問い合わせください。

スキャナのオプションの詳細については、本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) にお問い合わせください。

■ ScanAid の梱包品

| 清掃用品 | | 消耗品 | |
|--|--------------|---|----------------|
| 品名 | 備考 | 品名 | 備考 |
| クリーナ F1 (1本)  | 容量 : 50ml | パッドユニット (5個)  | 2万枚または1年ごとに交換 |
| クリーニングペーパー (1パック)  | 10枚入り / 1パック | | |
| クリーニングクロス (2パック)  | 20枚入り / 1パック | ピックローラユニット (1個)  | 10万枚または1年ごとに交換 |
| 綿棒 (2パック)  | 50本入り / 1パック | | |

■ 外形寸法





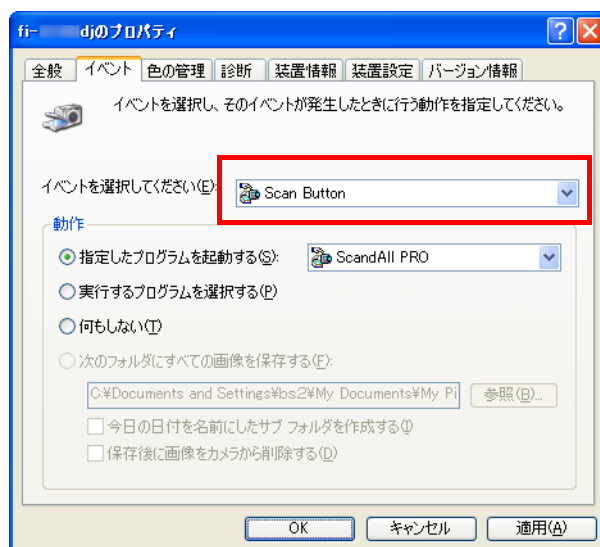
付録 B

[Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンを使う前に

あらかじめ [Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンにアプリケーションの関連付けを設定しておくことで、ボタンを押すと設定したアプリケーションを起動することができます。

■ パソコン側の設定

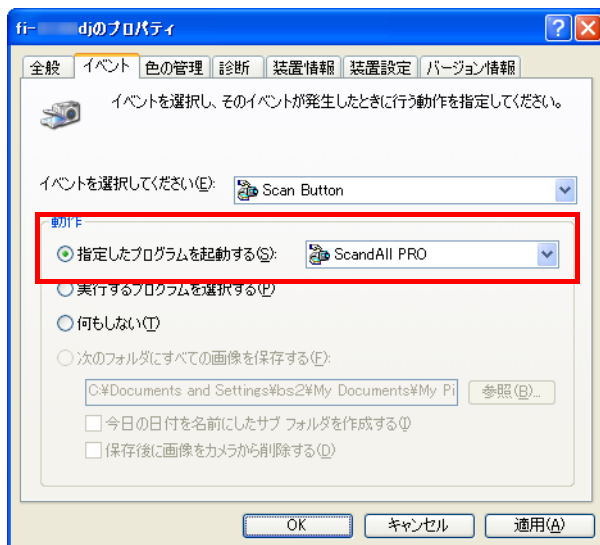
1. [スタート] から [コントロールパネル] を選択します。
2. [スキャナとカメラ] より [プロパティ] を選択します。
3. [イベント] タブを選択します。
4. イベントを選択します。Windows XP の場合は、[イベントを選択してください] のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、以下のイベントを選択できます。

- Scan Button (Scan ボタンを押したとき)
- Send to 1~9 (Send to ボタンを押したとき)

- イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。Windows XP の場合は、[動作] の下の [指定したプログラムを起動する] を選択して、右のメニューからアプリケーションと処理を選択します。

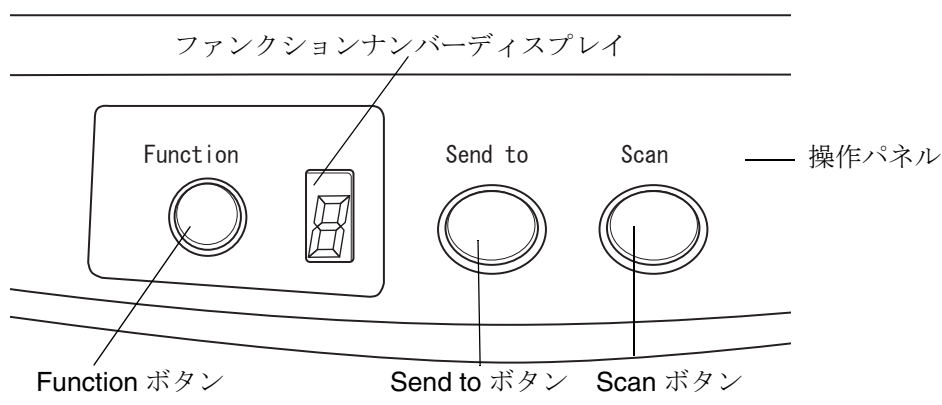


- [OK] をクリックします。
ScandAll PRO を使用する場合、ScandAll PRO ユーザーズガイドを参照してください。



お使いの OS によって表示される画面および操作が異なります。

■ スキャナ側の設定



- 「Scan」ボタンを使う場合**
 とくに設定することはありません。
 ⇒ 「Scan」ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動します。



| | |
|--------|----------------------|
| 画像の完全性 | 原稿の全領域が読み取られていること *3 |
| 圧縮 | JPEG 圧縮が使用可能 *4 |

- *1 これら設定は、2005年5月現在の各府省令およびガイドラインを参照しています。実運用にあたってはお客様の責任に基づいて最新の府省令およびガイドラインをご確認ください。設定方法は **Setup DVD-ROM** で提供されている「オペレーターガイド」を参照してください。読み取った後は、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。
- *2 細かな文字が含まれる文章が判読できない場合は、解像度を上げて読み取ってください。
- *3 読み取る原稿の情報をすべて画像データに収めるためには、「自動用紙サイズ検出」機能がある装置については、設定の上、読み取ることを推奨します。「自動用紙サイズ検出」機能がない装置で読み取る場合や、割印などがある原稿の情報をすべて画像データに収める場合は、「用紙サイズ」の設定を、読み取る原稿のサイズよりもひとまわり大きなサイズで読み取ることを推奨します。読み取った後は、読み取り原稿の必要な情報が画像データに収まっていることを確認し、各府省令に準拠した画像であることを確認してください。
- *4 JPEG 圧縮機能を使用する場合は、「高品質」設定で読み取ることを推奨します。読み取り後に、出力されたデータが各府省令に準拠した画像である事を確認したうえで使用してください。

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

□ 定額訪問修理サービス

機器の故障発生時には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

□ 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

□ センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

| | |
|-------------------|----------------------------------|
| SENDバック修理サービス | 持込基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担 |
| 引き取り修理サービス（付加） | 指定日に修理機を引き取ります。 |
| 代替機サービス（付加）*1, *2 | 修理中に代替機を貸出します。 （引取り修理サービスと併用） |

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承下さい。

| | |
|--------|---|
| キャンセル料 | 持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。 |
|--------|---|

□ オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

| | |
|-------------|---|
| オンサイト修理サービス | 訪問基本料金（作業時間＝1時間まで）＋部品費＋オプション料金＋加算料金（技術料金、その他加算料金） |
|-------------|---|

| スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ | |
|-------------------------------|--|
| 受付窓口 | 株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター |
| E-mail | scanners@pfu.fujitsu.com |
| 電話 | <p>050-3786-0811</p> <ul style="list-style-type: none">・上記の電話番号は、050 IP 電話サービスを利用しております。050 IP 電話については弊社のサポートホームページをご覧ください。・上記の電話番号がご利用いただけない場合は、NTT 東日本または NTT 西日本の一般加入電話からおかけいただくか、042-788-7755 にお問い合わせください。・電話番号をお間違えにならないようお願いいたします。・トーン信号が出ない電話機でおかけの場合は、そのまましばらくお待ちください。オペレーターが応答します。 <p>お問い合わせの内容・発信者番号は、対応状況の確認と対応品質向上のため、録音・記録をさせていただいております。</p> |
| 受付時間 | 9:00 ～ 17:00 (土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く) |
| ホームページ | http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/ |

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または
PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 消耗品の購入先

パッドユニットなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販社 / 販売店、または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

E-mail : shop@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

- ・ 本製品の修理はお客様自身では行わないでください。
- ・ 本製品の保証条件については製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。保証書には所定事項をご記入の上大切に保管願います。
- ・ 本製品の修理部品の最低供給期間は製品の製造打ち切り後 5 年間です。

索引

A

| | |
|-------------------|----|
| ADF (自動給紙部) | 2 |
| ADF で読み取る | 13 |
| ADF の清掃 | 37 |

I

| | |
|-----------------|----|
| ISIS ドライバ | 26 |
|-----------------|----|

S

| | |
|-------------------|---|
| Scan ボタン | 5 |
| Send to ボタン | 5 |

T

| | |
|------------------|----|
| TWAIN ドライバ | 23 |
|------------------|----|

U

| | |
|-----------------|------|
| USB コネクター | 3, 4 |
|-----------------|------|

か

| | |
|---------------------|----|
| 解像度 (ISIS) | 27 |
| 解像度 (TWAIN) | 24 |
| 各部の名称 | 1 |
| 画像タイプ (ISIS) | 27 |
| 画像タイプ (TWAIN) | 24 |

け

| | |
|-------------------------|--------|
| 原稿カバー | 2 |
| 原稿台 | 3 |
| 原稿台 (フラットベッド) で読み取る ... | 18 |
| 原稿づまり | 34, 52 |
| 原稿の向き (TWAIN) | 19 |
| 原稿の向き (ISIS) | 28 |
| 原稿をセット | |
| ADF に原稿をセット | 13 |
| 原稿台に原稿をセット | 18 |

こ

| | |
|------------------|----|
| 交換 | |
| パッドユニット | 44 |
| ピックアップユニット | 47 |

さ

| | |
|--------------|-------|
| サイドガイド | 2, 17 |
|--------------|-------|

し

| | |
|-------------------|----|
| 仕様 | |
| 外形寸法 | 3 |
| スキャナ | 1 |
| 消耗品の番号と交換周期 | 40 |

す

| | |
|--------------------|----|
| スキャナドライバの設定 | |
| ISIS ドライバ | 26 |
| TWAIN ドライバ | 23 |
| スキャナドライバの使い方 | 23 |

せ

| | |
|---------------------|----|
| 清掃用品 | |
| クリーナ F1 | 35 |
| 設定 | |
| ADF 読み取りの選択 | 21 |
| 原稿台読み取りの選択 | 21 |
| 用紙サイズ (TWAIN) | 19 |
| 説明 | |
| スキャナ | 1 |
| センサーレバー | 38 |

て

| | |
|--------------|------|
| 低電力モード | 11 |
| 電源投入 | 2, 8 |
| 電源ボタン | 8 |

は

| | |
|---------------|----|
| パッドユニット | 38 |
|---------------|----|

ひ

| | |
|------------------------|----|
| ピックバネ | 38 |
| ピックローラ | 38 |
| 表示 (ファンクションナンバーディスプレイ) | |
| エラー表示 | 52 |
| レディ状態 | 8 |
| ピンチローラ | 38 |

ふ

| | |
|-----------------------------------|------|
| ファンクションナンバーディスプレイ | 8 |
| ファンクションナンバーディスプレイのエラー 表示 | 52 |
| フラットベッド | 2, 3 |

ま

| | |
|---------------|----|
| マイラーシート | 38 |
|---------------|----|

ゆ

| | |
|-----------------|---|
| 輸送ロックスイッチ | 4 |
|-----------------|---|

よ

| | |
|----------------------------------|--------|
| 用紙サイズ (TWAIN) | 19, 24 |
| 読み取りが開始されないとき | 54 |
| 読み取り (給紙) 方法を選ぶ (ISIS) | 27 |
| 読み取り (給紙) 方法を選ぶ (TWAIN) | 21, 24 |

り

| | |
|------------------|----|
| リセット | |
| パッドカウンタ | 45 |
| ピックローラカウンタ | 49 |

fi-5015C イメージスキャナ オペレーターガイド

P3PC-1592-06Z0

発行日：2013年3月

発行責任：株式会社 PFU

- 本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。
- 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。
- 本書に記載されている内容に誤りがあっても、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規程をご覧ください。
- 本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。